

令和7年度

三田市 認知症地域支援推進員活動報告

報告者氏名:近藤寛恵 永田太一

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：7名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

認知症の人への効果的な支援を行うために、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図る。

(令和7年度三田市認知症施策推進事業業務委託仕様書より抜粋)

- ①地域包括支援センター職員等の対認知症ケアのスキル向上及び認知症ケアに携わる多職種協働のための研修事業
- ②認知症関係の事業を実施する関係機関・団体等との連携
- ③地域の実情に応じて認知症の人やその家族を支える事業の実施

④認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

各圏域にチームオレンジコーディネーターを配置し、認知症の人ができる限り地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域において認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐチームオレンジ活動を実施する。

⑤その他

- ・ 認知症に関する正しい知識の普及啓発、地域支援体制構築等の企画調整
- ・ 認知症ガイドブック（ケアパス）の有効活用のための普及啓発及び改訂の検討 等

令和7年度

三田市 認知症施策全体図

令和5年1月1日「三田市認知症の人と共に生き支え合うまちづくり条例(略称:認知症共生条例)」を制定

三田市 高齢者支援課

認知症高齢者家族支援サービス

- ①GPS貸与
- ②SOSネットワーク登録
- ③認知症個人賠償責任保険

相談・支援

情報共有

三田市地域包括支援センター【基幹型】

※チームオレンジコーディネーター兼務

<認知症地域支援推進員 1名>

- ・認知症疾患医療センターとの連携、関係機関とのネットワーク構築
- ・もの忘れ相談・介護者交流会
- ・認知症サポーター、キャラバン・メイト養成講座の企画、開催
- ・若年性認知症支援の連携体制づくり
- ・認知症の個別相談、ケアパスの普及啓発
- ・タッチde脳の健康チェック
- ・認知症地域支援推進員の総括
- ・認知症地域支援推進員連絡会の開催
- ・認知症初期集中支援チーム(兼務)
- ・チームオレンジ構築・活動支援 等

情報提供・支援 相談・事例提供

地域包括支援センター【6カ所】

※チームオレンジコーディネーター兼務

<認知症地域支援推進員 6名>

- ・認知症の個別相談・他推進員との連携
- ・認知症理解のための普及啓発
- ・認知症カフェ立ち上げ支援
- ・認知症サポーター養成講座の開催 等

連携

- ・三田市権利擁護・成年後見支援センター
- ・障害者総合相談窓口「きいてネット」
- ・地域福祉支援員

認知症疾患医療センター

(兵庫中央病院)
【専門医療相談・鑑別診断】

もの忘れ相談

初期集中支援チーム

連携

専門医療の提供

本人・家族

相談・支援

普及啓発・生活支援

市民・ボランティア団体

- ・認知症サポーター
- ・認知症キャラバン・メイト
- ・認知症カフェ
- ・家族介護者の会
- ・権利擁護サポーター 等

相談・支援

医療

認知症対応病院

認知症サポート医

認知症相談医

かかりつけ医

相談援助連携

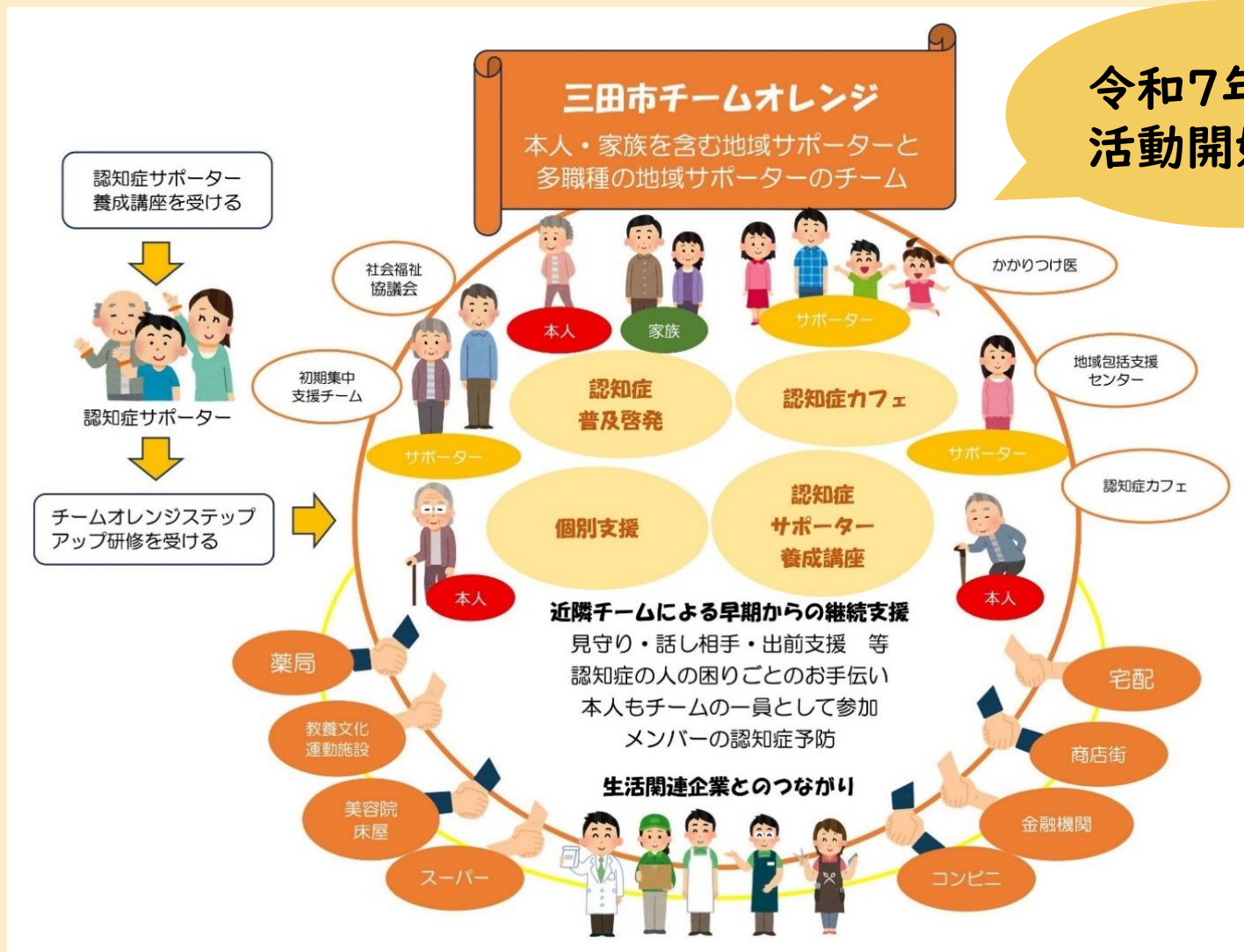
医療の提供

在宅生活の支援

介護保険事業者: 居宅・地域密着サービス等

- ・認知症対応型通所介護
- ・認知症対応型共同生活介護 等

三田市におけるチームオレンジの構築に向けた取組



三田市では、認知症に関する既存の取り組みや、地域での活動を基盤にして、一体感を持って取り組めるよう「**三田市チームオレンジ**」へ活動を集約しています。

チームオレンジの効果的な活動推進のため、下記の「グループ」を設けています。

認知症普及啓発グループ

認知症に対する地域の理解を深める活動、啓発媒体の作成、普及啓発の企画をしていきます。



認知症カフェ支援グループ

現在三田市内にある認知症カフェの活動支援および必要に応じてグループメンバー自ら認知症カフェを開催する等、認知症カフェの地域への定着を図っていきます。



個別支援グループ

認知症の人やその家族のやりたいことや、お手伝いが必要なことなどに対して、個別支援（例：話し相手、散歩の同行、定期的な見守り、趣味活動継続のお手伝い等）を行っていきます。

認知症サポーター養成グループ

認知症サポーターへの勧誘やグループメンバーでの認知症サポーター養成講座の開催を通じて、多世代の認知症理解を広めていきます。

4つのグループ活動を推進すると同時に、チームオレンジ全体会やグループ交流会を通じて横のつながりを作り、「できたらいいな」「やってみたい」の実現を目指しています。

R7年度にはこんな取り組みを行いました！

チームオレンジ交流会

三田市が「認知症の人をはじめ、誰もが安心して暮らせるまち」であり続けるために私たちに求められる取組みは何か。

当事者、キャラバン・メイト、認知症カフェなど地域活動者、認知症地域支援推進員、事業所職員、市職員、いろんな立場から意見交換を行いました。「認知症は誰もがなりえるものであるのに、ネガティブなイメージがあり、オープンにすることが難しい」「気軽に集える場がもっと必要」等、活発な意見交換が行われました。



認知症カフェ交流会

市内6か所の認知症カフェ代表者、認知症地域支援推進員、市職員が集い、情報交換や日ごろ感じている課題を共有しました。



認知症サポーター養成講座

「家族向け認知症サポーター養成講座」をチームオレンジが主体となり開催しました。デイサービス利用者および三田市美術協会の方々に協力いただき、当事者、児童と保護者、キャラバン・メイトみんなで一つの作品を作り上げ、認知症があってもなくても**一緒に楽しめる**ことを体感しました。



三田市マスターズマラソン ファンランにて啓発活動

チーム員からの「ファンラン(2kmコース)にみんなでオレンジのものを身に着けて参加したら、新しい認知症観の啓発にならないかな?」という提案より、チーム員や認知症カフェ参加者等へ呼びかけたところ、当事者含めて31名が賛同!

啓発物制作会やウォーキング練習会も開催



当日はあいにくの雨でしたが、沿道やランナーからの応援が力となり、参加者26名全員で完走しました。終了後には豚汁で乾杯!「楽しかった。またやりたい!」というサポーターの思いと、当事者・ご家族から頂いた「マラソンには参加できないけど、歩くことは一緒にできるよ!」という思いから、春に「オレンジウォーキング」も企画しています♪



チームオレンジステップアップ研修

今年度から本格的にスタートしたチームオレンジとはどういうものかをお伝えした後に、地域活動をしている中で認知症と診断をされた当事者が、仲間とともに診断後も変わらず活動を続けられていることを、伴走者と共にお話してくださいました。
当事者の思いや、地域で支えるとはどういうことかなど、多くのことを学ぶ機会となりました。



「三田市版チームオレンジ活動の手引き」や「認知症カフェスタートアップ支援制度」を設け、活動を支援しています！

三田市
チームオレンジ
活動の手引き



三田市



最後に・・・

認知症になっても自分らしく暮らしたい。それは誰もが望むこと。一人では難しくても一緒なら可能性は無限大。そんな思いから、三田市チームオレンジはこれからも当事者の声を起点とした活動を模索していきたいと思っています。